

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

市民の市政に対する意識、意見、要望等を統計的手法によつて的確に把握し、市政運営の有効な資料とする。

2. 調査の設計

- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| (1) 調査地域 | 相模原市全域 |
| (2) 調査対象 | 18歳以上の相模原市在住者 |
| (3) 標本数 | 3,000人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳からの等間隔系統抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送調査法（郵送配付－郵送・オンライン回収、はがきによる督促1回） |
| (6) 調査期間 | 令和6年6月24日～7月16日 |
| (7) 調査機関 | 株式会社TDS 神奈川営業所 |
| (8) 有効回収数（率） | 1,204（40.1%） |

3. 調査の内容

令和6年度 市政に関する世論調査は、8の項目について調査した。

調査項目	設問番号
1 広報について	問1～問7
2 市制施行70周年について	問8～問10
3 『子育てするなら相模原』に関する施策について	問11
4 大規模災害発生時に開設される医療救護所について	問12～問17
5 スポーツの観戦や支援について	問18～問20
6 移動手段について	問21～問24
7 自転車の安全利用について	問25～問26
8 大都市制度（指定都市制度・特別自治市（特別市）制度） について	問27～問29
基本属性（年齢、居住地等）	F1～F8

4. 区別

地域	地区（対象住所）
1 緑区	橋本地区、大沢地区、城山地区、津久井地区、相模湖地区、藤野地区
2 中央区	小山地区、清新地区、横山地区、中央地区、星が丘地区、光が丘地区、大野北地区、田名地区、上溝地区
3 南区	大野中地区、大野南地区、麻溝地区、新磯地区、相模台地区、相武台地区、東林地区

5. 区別・地区別回収状況



区	地区名	標本数	回収数	回収率
緑区	橋本	298	139	46.6%
	大沢	132	47	35.6%
	城山	99	43	43.4%
	津久井	98	34	34.7%
	相模湖	29	15	51.7%
	藤野	34	11	32.4%
	緑区計	690	289	41.9%
中央区	小山	85	22	25.9%
	清新	132	45	34.1%
	横山	58	25	43.1%
	中央	152	114	75.0%
	星が丘	74	24	32.4%
	光が丘	111	42	37.8%
	大野北	262	84	32.1%
	田名	126	43	34.1%
	上溝	141	48	34.0%
	中央区計	1,141	447	39.2%
南区	大野中	261	80	30.7%
	大野南	335	144	43.0%
	麻溝	76	28	36.8%
	新磯	55	22	40.0%
	相模台	187	78	41.7%
	相武台	82	34	41.5%
	東林	173	70	40.5%
	南区計	1,169	456	39.0%
地区不明	0	12	-	
合計	3,000	1,204	40.1%	

6. 集計結果を見る上での注意事項

- (1) 表、グラフのnまたは、()内の数字は、回答者数のことであり、回答はすべてnを基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入した。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 集計結果の表やグラフは、レイアウトの都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。
- (3) 回答の比率は、その質問の回答者数を基数として算出した。複数回答の設問は100%を超える場合がある。
- (4) 回答数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (5) 今回の調査結果による標本誤差は下記のとおりである。例えば、回答者数が1,204である回答が50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.88以内(47.12%～52.88%)とみることができる。

<標準誤差の表>

回答比率 回答者数	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,204	±1.73	±2.31	±2.64	±2.82	±2.88
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.26	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

$$\text{※標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{\text{回答比率} (1 - \text{回答比率})}{\text{回答者数}}}$$

※標本誤差とは、母集団からある数の標本を選ぶとき、選ぶ組み合わせによって統計量がどの程度ばらつくかを、すべての組み合わせについての標準偏差で表したものをいう。